

各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2018年 9月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店※1	100.9
阪神本店	83.9
支店計	105.8
全店計	100.0

※1 阪急うめだ本店99.8%、阪急メンズ大阪108.9%

※2 阪神本店が建て替え工事のために、売場面積が前年に比べて約2割減少しており、それを除くと、売上高前年比は、102.6%となります。

○ 全店の概況

- ・ 台風21号、24号の影響で9月4日、9月30日は、関西の全店を臨時休業。また、台風21号のその後の一週間は国内の消費マインドが低下し、前半は、関西各店が厳しい状況続く。さらに、関西国際空港の国際線の便数制限により、インバウンドの来店が激減するなど、9月上高への影響は全店ベース▲10%(阪急本店▲12%、阪神本店▲15%)と非常に大きかったものの、中旬以降は秋冬ファッションや高額品が好調に推移するなどマイナスの影響をカバーし、前年実績を確保した。
- ・ また、昨年秋に大規模リニューアルした博多阪急(122%)は引き続き高伸。特に、海外ブランドなど充実した品揃えのジュエリー等の認知度も高まり、広域からの来店も多く、“ハレのマーケット”に対する反応が非常に良く、嵩上げに貢献。

○ 阪急本店の概況 ※売上高が22ヶ月連続で前年実績を上回る。

- ・ 台風21号・24号による2日間の臨時休業等の影響で苦戦するも、中旬以降の気温低下とともに秋冬商材が活発化し、婦人服は高額ダウンジャケットが動くとともに、一千万円以上の海外ブランドのジュエリーが動くなど婦人ファッションが堅調。
- ・ 阪急メンズ大阪は、ファッション感度の高い顧客や富裕層の消費意欲が高く、台風の影響によるインバウンドの減少はあったものの、海外ブランドを中心に秋冬ファッションが好調に推移し高伸。
- ・ インバウンド(約2割減)は、台風が通過した直後の一週間は前年に対して半減したが、その後は回復基調となり、中旬以降は前年を上回るペースで推移した。しかしながら、前半の苦戦が響き、前年実績には及ばず。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2017年度					2018年度							
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
阪急本店	114.4	110.1	112.6	106.5	107.3	108.4	109.6	110.8	107.8	104.5	100.0	108.7	100.9
阪神本店	106.1	100.2	100.6	100.4	98.5	98.5	99.4	106.8	83.4	115.1	87.6	96.1	83.9
支店計	97.3	95.3	100.5	98.4	96.1	97.7	100.3	98.5	93.3	98.3	89.5	107.0	105.8
全社計	107.4	103.6	106.9	103.0	102.1	103.4	105.1	106.0	99.5	103.6	94.8	106.6	100.0

既存店計※1	109.4	105.5	108.8	104.9	104.3	105.3	107.0	108.0	102.3	106.4	98.0		
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	--	--

※1 既存店計は、2017年7月末に閉店した堺 北花田阪急を除く

※阪神本店除く全店計

108.0	102.6
速報値	

■ 食品事業

イズミヤ	売上高前年比(%)	阪急オアシス	売上高前年比(%)
全社計	95.8	全社計	97.0

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問合せ先>
 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 広報室 TEL:06-6367-3181